夕刊
磐城新聞
八月二十四日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇一六五五八番

夏すがた (下)

牧生

鮎と共に忘られないのは、河鹿の名所であると云ふことだ。うだる様な暑氣を避けて、この嵐峡に凉を求める人々の心に、泌む様な澄んだ響で鳴く河鹿の聲はどんなにか人の心を慰めて呉れることだらう。

此處、彼處の岩蔭に妙なるリズムは終日終夜果てゝともなく續けられるのである。流れに屋形船を浮べて團扇片手に耳を澄ますのもよいであらう。さなくば川沿ひのうねうねとした樹下徑の隨處にある瀧の飛沫思はず冷りとなりながらの漫ろ歩きや、或は岸邊の淺瀬に裾端折つて足を浸しながら涼をとる人も少なくない。

翠嵐影を落して、幽邃氣おのづから邊りに漂ひ、閑雅靜寂の境地を呈してゐる。

繁茂した樹木と、奇岩と淸流とを誇る嵐峡も、いつかの大風水害にをいて、大分の被害をかうむつた樣で倒壞した樹や洗ひ去られた岸邊の土が、いまだ隨處にその痛々しい貌を殘してゐる。けれども着々として復舊の手は伸べられ、ところどころ草原の樣に禿げた山肌にも若木が移植されて、もう今では殆んど昔日の面影を取戾しつゝある。名物の「しるべの松」が根こそぎへし折れたことは、當時、何としても淋しいことであつたが、それも前によく似た恰好の松を、宇多野の里から移して、第二世「しるべの松」として、若々枝を擴げてゐる。

川風に搖れる茶店の紺暖簾と、渡月橋畔のしるべ松。それに其の下をゆるやかに流されて行く筏の連りといつたものが、懷しい調和をもつて私の胸に迫つてくる。

附近には御陵を始め、大悲閣、天龍寺、淸凉寺、大覺寺等の古刹や、小楠公首塚、落柿舍、小倉山等の史蹟がある。

出征を送る (上)

AS生

歡呼のどよめきに
微笑む若者の
瞼の裏に巡るは感激の
涙であつたか
その日空は晴れ
汗にまみれた見送り人は
天もとゞろき地もさけよ
と
歌ふは
天に代りて不義をうつで
あつた
その人は
灼熱の曠野を追擊し
酷寒の山岳に銃をとるだ
らう
その日
一人息子の出征を祝ふ老
母もあつた
可愛いゝ坊やに最後の情
愛を傾けつくする出征の人
もあつた
その人を
その人を
見送るは父母であり
妻であり
友であり
兄弟であり
若く正しき日本の血潮で
あつた

馬上君三十三年祭席上

紫雲 小野勝平

三十三年追慕繁
薦筵今日采蘋繁
麟兒紹述箕裘業
慰得高人泉下魂

その日

8月25日

△和氣淸麿配淸(神護景雲三)△中江藤樹逝く(慶安元)△鐵砲渡來す(天文一二)△淺野幸長卒す(慶長一八)

○

飢餓の爲めに死する者少く食物のために死する者多し　俚諺

講談 振袖横町 (12)

須藤鐵一
荻原萬象畫

陰謀 (六)

五兵衛の宅を辭し去つた一造は二歩金抛つては受け、受けては抛りながら、二三間歩いたが、とある屋台店の暖簾をくぐつた。

「いらつしやい――」

「大將――一本つけてくんねえ――大急ぎだ……」

「へい」

腰打ちかけて、すしを肴に、一杯飲んでゐるところへ、また一人ずいと這入つて來た一人の男。

羊羹色になつた、三つ紋付の袷を着、裙に大きなへぎのあたつてゐる稽古袴をはいた若者である。

「老爺、わしにも一本つけて貰ひ度い……」

ぶつきら棒、酒を命じてこれもまた、チビチビと飲み初めた。

若者は、すしをつまんでちよつとあたりを見た。

「あつ！むらさきですかい」

一造は、手許にあつた小皿に醬油をついで若者の前に差し出したのだ。

「有難う」

輕く禮を述べて、二つ、三つすしを頰張つてから、

「どうも酒も一人ぢや旨くない……。一つどうだ、受けてはくれまいか……」

と、盃を一造にさし出した。

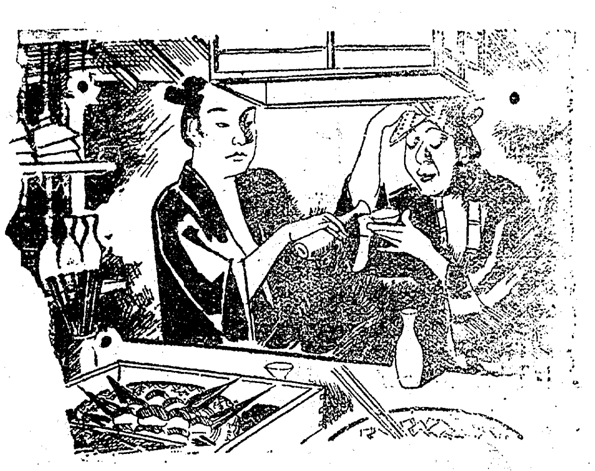
「へゝ、こりあ、濟みませんねえ……」

一造はその盃を受けた。

やつたり、とつたりの盃の應酬をしてゐるうち、若者は、大いしていける口でもないと見えて、その顏にはぼうつと櫻色になつて來た。

一造は、相手の人相、その態度又は、その服裝などから推して見て、何處かの道場の若者だらうと思つたので、

「時に、あんたは、どちらの劍術の道場へお住居でござんす……此處らあたりは除り町道場もありませんが……」



と、言つた。

「まつたく、お客さんの腕は太うございますね。それだけの太い腕をお持ちではヤットウの方は立派なもんでげせう……」

すし屋の親爺も、その腕を、つくづく見とれて云ふ。

「なるほど、隨分强さうな腕でがすね、わつちらも力仕事をするんで、相當の太さだが、あんたの腕と比べると、見られたもんぢやございません――時に、うるせいやうですが、道場はどちらでござんすえ……」

「わしか……？わしは、宿無しなのぢや」

「へつへつへ……。あんた隨分ん失敬者でござんすねえ……」

「如何致して……」

「だつて、宿無しだなんて」

「いや、冗談ではない。今日から宿無しになつたのぢや……。今の時代は、劍術の腕ばかりでは役にたゝんよ……。先生に胡麻をすつてゐる者の方が、腕は出來なくとも、道場の羽振りがいゝんでなあ……」

「へえ、さうですかね」

一造は變な顏をした。若者は、そんなことは構はず、

「今日は、少し虫の居所が惡かつたんで、祿に劍術も出來ず、先生に胡麻をすつて、師範代になつた者を、つぴどく打ち負かしてしまつたのさ……。それでな、先生の怒りにふれて、道場を追ひ出されたと云ふ始末なんだ……」

「へえ、なるほどねえ」

道場を追ひ出された内弟子とすれば、金は持つてゐまい。こんな者と一緒に飲んだら、どんな言ひ掛りをつけられないとも限らない。さはらぬ神にたゝりなし、早々引きあげやうと、一造は決心した。

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晚 南西の風 曇 時々晴 夕立模樣
明日 同

廣告

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

玉屋眼鏡店

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
万 織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田杢・杉四分板
建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
◉小店員募集 年齢十五歳ヨリ廿歳迄

◉看護婦募集
一、副婦長 一名 年齢二十五才以上
一、看護婦 二名 年令ヲ問ハズ(試驗合格者)
履歴書本人持參の事
給料其他面談上決ノス
平市十五丁目[元共濟病院跡]
平病院
電話六四一番

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
(1部10セン)
…お取次致して居ります…
(平2) 西村藥局 (電3)

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◇堅實な營業方針の サロンのお客樣は當地一流の方々です
◇色々な方に接することが 社交儀禮の實際に學び 成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◆評定あるサロンの調理法を御傳授いたします
◆見習ひとし 調理場、御勤務出來る御婦人に限ら
◆14歳以上30歳迄の健康な方
◆3年以上勤續出來る方
◆親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
サロン
電話529

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
美 マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町一一

中等學校制服……大特賣
髙
高嶋屋の洋服
男女學生服 新入荷
品製既ニ並 注文
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたしますゝ、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

專門
皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
入院隨意
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎

◇藥品藥養料各種飼◇
◇北里研究所製 ジステンバー豫防液
◇東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末(動物わかもとの稱あり)
◇フイツシミール 築養魚粉
病理研究、診療、築養劑の配劑飼育指導の需に應ず
擔任 技師 獸醫師
加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイツチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平産業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
内郷村堰ニ(平市外)
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合

舊七月一日ヨリ
佛壇及佛器具各種賣出し
舊盆！
年に一度の佛の供養に
何人樣にも御準備を！
種目
佛壇、位牌、佛膳、佛椀、經机
高杯、茶碗、木魚、木蘭、本立
珠數、過去帳、輪及臺、線香立、花立
常花、香爐、佛器、ローソク立
新盆の家庭へ贈つて喜ばれる佛器具を御勸め致します。
平市三丁目
本 丸ほん商店
電話三五九番

御佛具
佛ダン 位牌
特賣中
新盆には是非伊東屋へ
平市四丁目[局前]
伊東屋家具店
戰死者の方には勉强を致します。

御婚禮御着附
パーマネント ウエーブ
洋和結髮 オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術
電話 六七八營業所 五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

御知らせ
和洋結髮、パーマネント
御婚禮用 貸衣裳 貸かつら
此の度知人の御勸めにより初めました
御用命の程を御願ひ致します
平市新田町
手塚美容院

神經痛・ロイマチス
塗布藥 漢方
百草根
藥價 五〇錢 一五〇錢 五〇〇錢
陸海軍病院御用藥
平代理店 丸亀商店
平市大町 電話一三三番

全面的に緊張して 興亞記念日を强調
全市に實踐事項を指示

來月一日の興亞奉公實踐記念日に當つては既に之の日を以て全國的公休の同一歩調に出る事に決定した藝妓屋、料理屋兩組合の外、今後これに順應せんとする娯樂方面等市内に於ても夫々時局的影響を反映するものと觀られてゐるが市では縣の通牒に基き各自の自肅自戒により國民精神運動の一層强化擴充を圖り時艱を克服して聖業を達成し東亞新秩序の建設目的を達成せしむるため左記事項を實踐せしむべく直に全市民に周知方を手配することゝなつた

興亞奉公日實踐事項

一、當日は各戸一齊に國旗を掲揚すること

二、當日は正午を期し感謝の默禱を捧ぐること尚は戰歿將士の墓參並に墓地の清掃を行ふこと

三、當日は慰問文發送並に慰問袋の發送並、傷病軍人および出征軍人遺家族の慰問を行ふこと

四、當日は特に早起を勵行し各自業務に精勵すること

五、當日は服裝並に食事を簡素にし禁酒禁煙を實行すること

六、當日は家庭内の整理整頓を行ひ廢品を賣却すること

七、當日は必ず貯蓄を實行すること

て重大なる責務を完ふせんことを期す

第三次防空訓練延期
本縣は十月下旬

東部防衛司令部管下今年度第三次防空訓練は十月一日から行はれる豫定であつたが本縣は都合上十月下旬から一週間に亘りて實施することに決定

四倉市場の初取引 七十六圓六十錢
前途に稍々樂觀行はる

地方農村に極めてはつきりした明暗を描く繭價の今初秋蚕はどうか？各方面注視の裡に行はれた第二十三日の四倉市場初取引は出廻り十貫七百匁、貫七十六圓六十錢で僅かに小川村から一人の出場に過ぎず、來る二十七日頃から三十日前後迄を見らして居る最盛期に入らぬと本當の見透は附かぬが、前日の分は今期の最初であり品質も大体二等級で之の程度の値が出た事は決して消極的の觀測材料とならぬわけで今後の動向が刮目されてゐる

選肅を決議
けふ振興委員會

市振興委員會は今二十四日開き縣議戰を前に左記肅正決議の外既報申合せをした 選擧當日（九月二十五日）は例によつて國旗掲揚投票開始時は鳴物を動員する外ポスター、立看板等で選肅を强調する

決議

選擧は立憲政治の根幹にして社會の淨化總て源を茲に發し國民が大政を翼贊し奉る臣民道實踐の機會たり、來るべき選擧に際しては深く時局を認識し第一線將士の神聖なる心事を以て選擧に對處し一致協力公明正大眞に明朗なる選擧の實現に努力し上聖明に應へ奉り立憲政治の强化地方自治の振興に努め非常時日本の君國に報ずるの覺悟を以

六縣市部の財務協議會
十月市公會堂で

東北六縣市部財務協議會は十月十三、十四の兩日市公會堂に開かれることに決定、出席者は大藏省主税局長、内務省地方局長、本縣知事、仙台税務監督局長をはじめ關係市長、助役、收入役等約八十名に上る見込みで第一日は議案審議後徴税事務功勞者に對する感謝狀の贈呈式を擧行する

尚局長等待會場は住吉屋本店と決定した

無緣佛慰靈祭

市社會事業助成會では舊盆に際し例年の如く二十五日午後一時から八幡小路共同墓地で無緣佛の慰靈祭を執行する

死亡七七パーセント
疫痢續發市に恐怖時代を現出
特に秋ぐちの注意肝要

今年は晩春初夏以來例年に比して幾分氣候の適順を欠いだ傾向あり、それかあらぬか市内に於ける傳染病の發生も例年より稍々頻繁で遠般の消息を知る向をして些か憂鬱ならしめて居るが近來小兒にとつて一大脅威たる疫痢の發生殊に甚しく六月以來今日迄の罹病者三十名の多きに上り而もうち不良の轉歸二十三名この死亡率七七・六六％と云ふ戰慄すべき數字を示し去る十九日の如き一夜に何と四名の死亡兒を出した程であるが時恰も秋ぐちの不健康季に在り、これ以上禍害の及ばぬ樣當局でも專ら之が豫防警戒中で、一般家庭特に年少者を有する向では絶大細心の注意を拂はれ度いと

尚チフスは才槌小路で去月二十六日から十八日迄の間に一家から四名の患者を出した位で例年より尠く當局でも喜んでゐる

極貧家庭に『親心』
市内百三十三戸に 助成會から見舞金

市社會事業助成會では既報の如く各區長によつて調べた舊盆に佛の供養も出來ないカード階級百三十三戸この人員六百十名に對し一人當り八十錢最高三圓を方面委員會の手で贈ることゝなつた。該當者は昨今の事變景氣で幾分減るものと見られたが其後の轉入者等のあつた關係で昨年末とほゞ同數である。

舊盆を前にして 出征遺家族慰問
市銃後會の内容（下）

軍事援護

會長青沼市長から評議員及び幹事を囑託、新陣容を整へた上愈よ本格的活動に入るわけであるが先づ第一回事業として舊盆を前に明二十五日市内出征軍人遺家族を歷訪、縣からの分と併せ見舞金を贈ることゝなつた

尚市内出身の前線將兵に對しては既報の如く各種團体學生からの特別慰問狀はその封筒並に郵税を會負擔として慫慂する外時折會名義の下に發送し大いに士氣を鼓舞すると

會 則（續き）

第四條 本會の會員は左の三種とす

一、名譽會員 毎年百圓以上を納むるもの

二、特別會員 毎年十圓を納むるもの

三、普通會員 毎年五圓を納むるもの

會員たらんとする者は入會申込書を提出するものとす

第五條 本會に左の役員及職員を置く

會長一名

副會長四名

評議員若干名

幹事若干名

本會に顧問を置く事を得

第六條 會長は平市長に副會長は平市助役、平市會議長、帝國在鄕軍人會平市聯合分會長及平市商工會長に委囑し評議員及幹事は會長之を囑託す

會長は會務を總理す

副會長は會長を補佐し會長事故あるとき其の職務を代理す

評議員は本會の經費豫算及決算並重要なる事項を審議す

幹事は會長の指揮を承け會務に從事す

第七條 本會の經費は會費及寄附金其の他の收入を以て之に充つ

會費は之を分納することを得

公會堂造園寄附募集

公會堂の造園は四圍を櫻樹でめぐらす等既に專門家の手によつて設計を了し目下一部から寄附金を募集中である

今年の千蘭盆に就て
平市長 青沼鉾太郎

今や支那事變も第三年、入り我が國民は戰時體制下に於て千蘭盆を迎ふることになり名譽の陣歿を遂げられた勇士の御遺族の方々や其の他一般に新盆を迎ふる方々は如何にして御佛を慰め慰靈と心を碎へて居られることゝ察せられる。勿論今次の場合であれば地方の舊慣や傳統にて身分相當と慰靈の方法を講ずることが望ましいことであるが現下國家の總力を擧げて一面蔣政權の潰滅戰に當り一面東亞新秩序建設の爲め物心總動員を以て或は中元の贈答を廢止し、或は台所の隅々までも物を切りつめて消費を節約し、貯蓄報國の赤誠を捧げて軍需資材の確保と國家經濟力の充實とに努め以て振古未曾有の國難打開に邁進して居る秋である。從て殉國勇士の御遺族の方々も其の他一般に新盆を迎へらるゝ方々も斯の非常時局を深く御理解になつて戰時體制下に於ける銃後國民の務めへと新盆の行事に反映させ下さいまして極く質素簡潔を旨とし精神的に實行せられんことを念願すると同時に一般市民も時局の愈々重大なるに深く思を致し戰時體制下の千蘭盆に處する樣切望して止まぬ次第である。特に留意を望み其の實行を切望する事項左の通りである。

記

一、從來行はれて居た大提灯其の他趣きを凝らした裝飾等は多額の費用をかけず努めて質素を旨とし之により省き得た金額は貯蓄報國に當てるか又は國防獻金或は市銃後奉公會に寄附すること

一、親戚等にして新盆の家庭に贈る供物の如きも非常時對處の精神を反映せしめ相互の出費を節約すること

一、ジャンガラ念佛供養團は殉國勇士の新盆家庭より喜捨を受けざること又同家庭に於ても之が喜捨を爲さざること 以上

第二次齊藤書塾展
廿九、卅兩日市會議事堂で

過般市内磐城訓盲院に開催した齊藤書塾展は時局柄眞に機宜の催し乍ら會場の位置その他から入場者が豫想に達しなかつたが、寔に惜むべきる三百餘點の作品をこの儘返付するに忍びず更に來る二十九、三十の兩日（露十錢）夜十時迄市會議事堂に於て第二次展覽するそ

出陳は昨年十月より本年八月迄の塾生作品、スケッチ歩き會同、夏季圖畫講習會同で尚ほ前回同樣、軍事慰問用の似顔（童心書狀一枚二十錢）の即席揮毫を行ひ、純益を市軍事後援會に寄附する

縣の慰問使を迎へて
‖郷土出身將兵の感想その他‖
蓮沼龍輔抄〔8〕

市内南町出身 本間七五三吉

（日誌承前）五月八日の日も暮れんとしてゐるが依然として我軍の追撃の手は緩めなかつた。

數日の戰闘行軍に身体は綿の如く疲勞して居るので行軍中にも居眠りが出る。特に夜に入つてからは尚更だ。重い足を引きずり〇〇に着いたのは眞夜中の一時頃だつた。其後敵をどんどん退却してゐると見えて今夜は小銃の音すら聞えぬ。露營地に着いて幾らか安堵したせいか皆は横になると直ぐ眠つてしまつた。

僕は附近から藁を集めて〇〇時を作らうとしてゐると戰友の神長倉君が血走つた眼でやつて來た。

『丹野一郎君が昨日の戰闘で戰死したさうです』彼の口から此の言葉が出るか出ない内に僕の腦裡には〇〇附近のあの光景が走馬燈の樣に浮んだ。

『何を馬鹿な』そんな莫迦な事があるか、あの元氣な丹野君が……何かの間違ひだ――

僕は愕然とし乍らも強く心の中で幾度か否定し續けた。重くるしいその夜も明け切らぬ内再び前進し始めたのは朝の四時半頃だつた。寢不足と昨夜の神長倉君の言葉が何となく氣掛りで今迄にない憂鬱な朝だつた。行軍をし乍らも色々と丹野君のことが錯綜して頭の中を驅け廻つて居る。全く厭な朝だつた。

夜明けと共に前線部隊の後尾に追ひついた。早速×隊の人達に丹野君の事を聞き訊した。併し神長倉君の昨夜の言葉は間違ひではなかつた。

五月九日、〇〇隊と交代して我が〇〇隊は其後敵の十字砲火の中を遮二無二に驀進、敵の本陣〇〇城一番乗りを敢てし破竹の勢ひで〇〇に前進、遂に敵を壞滅せしめ茲に今回の會戰も我軍の勝利に歸し蔣政權に大きな打撃を與へた。

お披露目

盆後のだるみシーヅン乍ら、市の花街は銃後の愼しみを忘れぬ程度の活氣を呈して居るが昨二十三日も橘家から文字通りの美形「照香」が颯爽として出現した

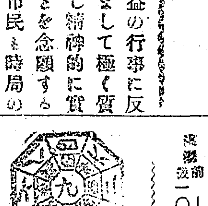
平市慶弔錄

△出生 一丁町一 菅野米吉氏長女睦子さん

▲死亡 舊城跡二〇 飛田瑞氏（四〇）

二十五日 【小名濱測候所觀測】 滿潮 前 後一〇、二二 干潮 前五、五五 後――

新 八月二十五日 金曜 / 舊 七月十一日 甲午 大安 牛宿



▲一白 人言に迷ひ易し空想より事を破ることあり ▲二黒 天來の賜ものを受くる吉日企業入學名弘め皆吉 ▲三碧 工夫すれば爲る事火費に追はる、日守が吉 ▲四綠 終りの全からざる日無謀急速は第一のつゝしみ ▲五黄 自然に幸福の増進し來る日始業普請旅行吉 ▲六白 本業を眞直ぐに守るべし意志を散さば敗る ▲七赤 思はしからざる日外に出でゝ殊に慾りとす ▲八白 居心悪しくとも目上には引き立てらるゝ吉日 ▲九紫 六ケ敷き日なれど宿貫なれば却て吉と成る

夜間診療

胃腸性病

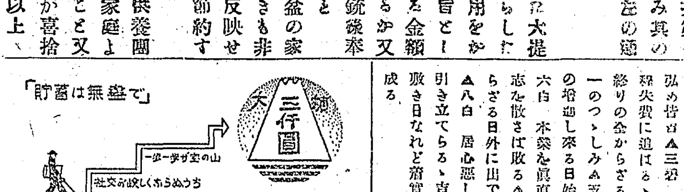
内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科

專門

（見習看護婦募集）

松村胃腸性病科醫院

（平市南町電一〇七番）



高久病院

平市田町（電話五三一番）

内科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科

醫學士 高久忠 新潟醫學士 赤羽[illegible] 藥劑士 佐竹[illegible]

（看護婦至急募集）

◇從業員募集◇

一、建物建具大工職 二十名 機械工員 十名 女工員 十名

二、大工の經驗ある方なら年令を問はず、申込み下さい。製作品給料其他詳細は平職業紹介所又は當工場に問ひ合せられたし

三、申込期間 昭和十四年八月十五日より同年九月十日まで

平市佃町三 佐藤木工平工場 電話 二五三番

音の立體感

音!! ビクター コロンビア ラヂオ

特約店 平市五丁目 電話一九五番 金光堂時計店

九月新譜御知らせ

世界一周大飛行の歌 日本の妻 浪花節 九段の母〔大中軒雲月〕

◎洋樂各種取揃へて有ります

謹啓亡母房の新盆に相當り候處時局柄供物其他提灯等甚だ乍勝手固く御辭退申上候不惡御了承相成度此段謹告仕り候

昭和十四年舊七月

平市紺屋町三五 吉田久雄

淳光院新盆の處勝手がましく候得共提灯、其他供物の儀固く御辭退申上候

平市南町三〇 佐川三良

謹啓初秋の候益々御清穆之段奉賀候陳者亡父至誠院新盆に相當り候處時局柄佛前へ提灯其他御供物等一切拜辭可仕候間不惡御諒承賜り度御願申上候 敬具

昭和十四年舊七月

平市二丁目 山崎賢助